

風をおこせ!ハピスマ六甲おろし!

～見せつけよう!ハピスマの底力を!!～

IN 新神戸～六甲ケーブル

活動日時： A…2月28日(土)

B…2月22日(日)

活動プログラム：

午前	集合・移動	おはようございます!今月は待ち待った六甲全山縦走だよ。史上最も長い道のりだから、みんな気を引き締めていこう!みんなの底力の見せどころだ!
	登山 〈掬星台まで〉	今回のグループは少し変わっていて、『高学年グループ』と『低学年グループ』に分かれるよ。「頼る・頼られる」ではなく、「協力」し合っこの山を乗り越えて行こう!!山が険しくなると疲れが出てくるね。そんな時こそみんなで沢山会話して、楽しさで紛らわそう。
	昼食	お昼ポイントの掬星台に到着!!美味しいお弁当を食べながら、みんなで前半の道程を思い出そう。どんな会話をし、どんな楽しさを発見したかな?
午後	登山 〈六甲ケーブルまで〉	後半は前半と違って傾斜が緩やかだから比較的楽だね。道が楽なときほど、みんなで丸となってゴールを目指そう!ケーブル乗場まであと少し!!
	振り返り まったね～	見事ゴールに到着!みんな良く頑張ったね。少し休んだら今回の道のりを地図を見ながら思い出そう。どんなことを思い、考え、話して辿り着いたかな?これからの活動でもとても大事なことから、忘れないでね。



〈全体感想〉

先月の活動でハピスマの活動を全体的に見ていて、メンバーみんなは優しく、手伝えることを率先して行うので、そこに甘んじてしまい「頼る・頼られる」ことが当たり前になっていると感じました。「頼る・頼られる」こと自体は間違いではなく、とても大事なことです。しかし、そこに甘えてしまうと自分で考え、行動する前に誰かにお願いしたり、代わりにしてもらったりしようとする思いが出てきます。私は『まずは自分でやってみる』、それで厳しいなら『誰かと相談したり、協力したりする』、それでも無理なら『お願いして頼る』といったプロセスが必要なのではないかと考えております。これは低学年だけに言える事ではなく、高学年にも言える事で、低学年にグループの雰囲気盛り上げてもらったり、提案を出してもらったり、頼ってきていたところは十分に見受けられます。メンバーのみんなには、持たれている「優しさ」と一緒に『乗り越える力』を養っていける活動を行っていきます。

(竹中 哲郎)